

科目名	作業療法治療学演習 I						授業の種類	演習	必修・選択		必須
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	配当学年時期	1年	前期	
【授業の目的・ねらい】 作業療法の身体領域で使用されている評価と評価法に関する知識及び技法を演習を通して学習する。											
【実務者経験】 作業療法士として水島中央病院、介護老人保健施設あさぎり むつみ荘等にて、身体障害領域の急性期から回復期までのリハビリテーションに従事。											
【授業全体の内容の概要】 実技を中心とする。それに関する必要な知識・技術に関しては学生達も演習を実施する。											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 作業療法の身体領域で使用されている評価と評価法に関して説明でき、実技を実施することが出来る。											
回数	講義内容										準備物(教材)
1	面接										
2	面接										
3	バイタル										
4	バイタル										
5	形態測定										
6	形態測定										
7	反射										
8	ROM										
9	ROM										
10	ROM										
11	ROM										
12	ROM										
13	ROM										
14	ROM										
15	ROM										
	実技試験										
【使用教科書・教材・参考書】 標準作業療法学作業療法評価学第3版											
【準備学習・時間外学習】 作業療法士にとって評価する技術はなくてはならないものです。よって習う内容も多く、日々の復習と内容の理解を怠らないようにしてください。理解した知識が実技につながっていくことを意識しながら学習することがポイントです。											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】											
試験の結果を100点満点として成績を評価する 試験は実技試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。											